

# 産業別四半期見通し調査結果 (2020年10～12月期見通し)

## ■長野県産業天気図

### ◇2020年7～9月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が1業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が6業種となった。

### ◇2020年10～12月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が1業種、「小雨(低調)」が6業種、「雨(不調)」が5業種となった。方向感では、「やや上昇」が5業種、「横ばい」が6業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2020年 4～6月期現況	2020年 7～9月期現況	2020年 10～12月期見通し
晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
薄日(順調)	1 業種	1 業種	1 業種
曇り(普通)	0 業種	0 業種	0 業種
小雨(低調)	5 業種	5 業種	6 業種
雨(不調)	6 業種	6 業種	5 業種

## ■10～12月期見通しのポイント



- 製造業では、「自動車部品」が「雨(不調)」から「小雨(低調)」となる見通し。非製造業では、天気マークの変化はみられない見通し。







## <産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2020年9月中旬～10月中旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の115社



業種	前期 (4～6月期)	今期 (7～9月期)	来期 (10～12月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	自動車関連を中心に引き続き受注は低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、新型コロナの影響で設備投資の縮小や先送りがみられ減少した。今後、中国向けでは持ち直しが見込まれるが、国内・米国・欧州向けでは自動車関連を中心に低迷し、全体の受注は低調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>工作機械</b>の受注は、国内では主力の自動車関連の設備投資回復が見込みにくく、低調な見通し。中国向けは、IT関連がけん引し堅調な見込み。米国・欧州向けは、新型コロナの感染再拡大により営業活動が引き続き制限されるなど低迷する見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>半導体製造装置</b>の受注は、データセンター向けや中国を中心とした5G関連、スマートフォン向けの需要が続くことから、堅調な見通し。</li> </ul>



電子部品・デバイス	スマートフォン向けの受注は堅調、自動車向けは低調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>スマートフォン向けの部品受注は堅調だったが、車載向けは低調だった。今後、スマートフォン向けは引き続き堅調な推移が見込まれる。車載向けは、持ち直しの動きもみられるが引き続き低調の見込みで、全体では低調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>スマートフォン向け</b>は、前年モデルの受注が継続するとみられるほか、5G対応の新型モデルの販売が始まっており、堅調な推移が見込まれる。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>車載向け</b>は、新型車の部品がやや増加するほか試作の受注も再開されるとみられるが、力強さに欠け、引き続き低調な見通し。各種製造装置に組み込まれる<b>電子制御部品</b>は、省力化機械など一部で底堅い動きもみられるが、総じて低調な見通し。</li> </ul>



自動車部品	低水準ながらも受注は徐々に持ち直すとみられる
<p>● 現況</p> 	<p>完成車メーカーは減産していた生産体制を戻しつつあるものの、新型コロナ感染拡大前の水準には戻らず、受注は低調だった。新車需要が徐々に上向いてきていることもあり、今後は低水準ながらも受注は持ち直していくとみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>国内向け</b>は、低水準ながらも、人気の車種向けを中心に受注は徐々に上向く見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>北米向け</b>は、低金利ローンなどにより新車需要が持ち直しつつあり、受注は上向く見通し。</li> <li>• <b>中国向け</b>は、日系メーカー車の販売が順調であり、安定した受注が見込まれる。</li> <li>• <b>東南アジア向け</b>は、新型コロナの感染が拡大しているインドネシアを中心に新車需要の落ち込みが続くとみられ、受注は低調となる見通し。</li> </ul>


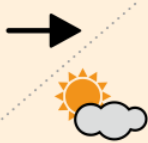
飲料製造	観光・外食需要は上向くが、宴会自粛が影響し低調を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だったが、不要不急の外出自粛により宿泊施設や飲食店向けの業務用が減少し、全体では低調だった。今後は、国の需要喚起策等により観光や外食の需要は上向くと予想されるが、宴会自粛は続くともみられ業務用の需要は引き続き低調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>清涼飲料水</b>のうち、<b>果汁飲料</b>は昨年の台風災害の影響でりんご等の原料が不足しており、生産はやや減少する見込み。<b>その他の清涼飲料水</b>は、観光など外出の動きが徐々に戻るにつれて需要は持ち直すとみられるが、総じて低調な見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>清酒やワインなどのアルコール飲料</b>は、国の需要喚起策等により観光や外食需要がやや持ち直すとみられるが、宴会自粛の影響は大きく、引き続き低調な見込み。</li> </ul>


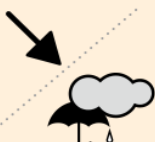
食料品製造	家庭用の需要は堅調、業務用も持ち直すが低調が続く
<p>● 現況</p> 	<p>即席みそ汁や加工肉など家庭用食料品の需要は堅調だったが、宿泊施設や飲食店向け業務用の需要は低迷が続いたことから、全体では低調だった。今後は、国の需要喚起策等から観光や外食の需要が上向くとみられるが、その回復力は弱く、低調の域を脱しない見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>味噌</b>は、即席みそ汁など調理が簡便な商品を中心に家庭用が堅調なほか、宿泊や外食向けの業務用の生みそも徐々に持ち直すとみられる。</li> <li>● <b>乾燥食品</b>は、家庭用の需要は堅調で横ばい、業務用はやや上向くとみられるが低調な見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>コンビニ向け惣菜</b>は、弁当と共に底堅く推移するほか、イベントや旅行などでの利用がやや持ち直すとみられる。</li> <li>● <b>加工肉</b>は、無添加製品を中心に家庭用の需要が堅調な見込み。</li> </ul>



機械器具卸	投資マインドの回復は見込みにくく、受注は低調に推移
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響により設備投資が抑制され、機械需要は減少した。今後も、しばらくは設備投資マインドの回復は見込みにくく、受注は低調に推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械やFA機器などの機械受注</b>は、自動車関連を中心に投資の抑制が続き低調な見込み。機械に取り付ける<b>切削用工具類や金属板などの消耗品受注</b>は、生産活動の持ち直しに伴い上向く見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>空調機器</b>は、教育施設での空調設備工事がピークを越え、受注は減少する見込み。</li> <li>● <b>電設資材</b>は、公共工事では大型施設の改修・設備工事が見込まれるが、民間工事では企業の設備投資や戸建て住宅の建設が減少し、全体では取扱量は低調な見通し。</li> </ul>



大型小売	衣料品の不振は続くが、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>大型小売店は、新型コロナによる内食化の浸透などで食料品の売り上げが増加したほか、日用雑貨も堅調だった。一方、不要不急の外出自粛が続いたこともあり、衣料品は低調だった。今後も、生活必需品の需要は底堅く、食料品は堅調な推移が見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>百貨店</b>は、催事の再開で集客を回るとみられるが、感染対策による規模の縮小から、集客効果は限定的となる見通し。また、プレミアム商品券などによる売り上げ増加が期待されるものの、外出着などの需要は減少しており、衣料品は低調な見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スーパー</b>は、消費税増税で落ち込んだ前年の売り上げを上回る見通し。内食需要の増加もあり、食料品は堅調な推移が見込まれる。</li> </ul>

自動車販売	人気の車種を中心に徐々に持ち直すものの、水準は低い
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響による所得や雇用環境の不透明感を背景にした節約意識の高まりに加え、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動により、販売台数は前年を下回った。今後は、人気の車種を中心に徐々に販売は上向くとみられるものの、その回復力は鈍く、全体の販売は低水準となる見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新車販売</b>は、軽自動車や小型車の人気車種を中心に徐々に持ち直すが、低水準が続く見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>中古車販売</b>は、支出を抑えたい消費者から一定の需要はあるものの、低調な推移を見込む。</li> <li>● <b>輸入車販売</b>は、新型モデルや価格の高い車種を中心に堅調な見通し。</li> </ul>

公共工事	災害復旧や治水・土木工事を中心に工事量は例年を上回る
<p>● 現況</p> 	<p>昨年の台風19号災害による復旧工事が数多く発注され、安定した工事量を確保した。今後も被災地域では一定の工事発注が見込まれるほか、7月の豪雨災害に伴う復旧工事が南信地域を中心に増加する見通し。復旧関連以外の治水・土木工事も堅調な工事量を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国では、三遠南信自動車道の建設に伴う周辺整備が継続する中、堤防工事や砂防工事の発注量も多く、例年を上回る工事量となる見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県では、治水工事や土木工事の堅調な発注量が続く見込まれ、南信地域の豪雨災害復旧工事の発注も始まり、例年を上回る工事量となる見込み。</li> <li>● 市町村では、土木工事や施設改修等の発注が多く、安定した工事量が見込まれる。</li> </ul>

民間工事	設備投資・住宅建築ともに需要は減少を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響で企業の設備投資は縮小や先送りの動きがみられ、工事量は伸び悩んだ。今後も、投資に対する慎重な姿勢が強まるとみられ、新規の工事は減少する見通し。新築住宅は、先行きの不透明感から需要が減少傾向にあり、着工数は低調を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の建設投資は、新型コロナに伴う投資意欲の低下から消極化している。今後も、先行きへの不透明感から設備投資に対する抑制的な見方が強まり、工事量は減少が見込まれる。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅関連は、建売やローコスト住宅といった比較的安価な物件のニーズが見込まれるが、注文住宅の受注は減少傾向にあり、総じて着工数は低調な見通し。</li> </ul>

貨物	運送量は低水準ながら一部に底打ちの動き
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響に伴う生産や輸出の落ち込みにより、工業製品を中心に貨物需要は減少が続いた。今後は、全体の運送量は低水準ながら、一部に底打ちの動きも見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産用機械の運送量は、新型コロナの影響で設備需要が減少し、完成品・関連部品ともに荷動きは鈍い見通し。自動車部品・電子部品関連は、全体の荷動きは低い水準にとどまるが、中国など海外向けの需要に底打ちの動きがみられ運送量はやや上向く見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品関連は、内食需要に支えられて日常的に消費する飲料や加工食品などを中心に大型小売店向けの荷動きは安定的に推移する見通し。しかし、観光や宿泊などの外食需要は力強さに欠け、食品全体の運送量も例年を下回るとみられる。</li> </ul>

観光	GoToトラベルにより観光客数は増加するが、インバウンド・団体客は戻らず
<p>● 現況</p> 	<p>GoToトラベルの効果はみられたものの、全県で感染警戒レベルが引き上げられたことにより観光客の動きが弱まった。今後、GoToトラベルの対象に東京が追加されたことで観光客数の増加が見込まれるが、インバウンドの他、3密となり感染リスクが高い団体客は見込めず、引き続き観光客数は低調に推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客は、新型コロナ感染防止対策を実施しているものの、公共交通機関の利用を避け、自家用車などでの移動が多く、利用客数は低調に推移する見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設は、観光需要の持ち直しから宿泊客数は増加見通しながら、感染防止対策により客室数を限定しているため、大幅な増加は見込めない。</li> </ul>